

学校経営方針について（保護者版）

校長 住 吉 豊

目指す学校像

・「楽しいと感じる授業の創造と、学力をきちんと身に付けさせる学校」

学ぶことの楽しさを実感でき、意欲をもって主体的に学ぼうとする授業を目指します。「わかる授業」「学ぶことが楽しい授業」「考えさせる授業」に取り組み、その中で学力や思考力をきちんと身に付けさせることを目指します。

・「人と人とのかかわりを大切にする学校」

クラス活動や委員会活動、部活動、奉仕活動、地域交流活動等、人とのかかわり合いを通して、集団生活のルールをきちんと身に付けさせ、互いを大切に思いやる心といった豊かな人間性を養うことを目指します。

・「喜びや感動を実感し、充実感を味わえる学校」

集団の中で自身の力が生かされ、認められる喜びや感動を実感させることで自己肯定感を高めることを目指します。

・「地域と連携・協力を深め信頼される学校」

七小・九小と連携し、9年間を通して学習、生活面の伸長を図ります。コミュニティ・スクールとして、地域の方々の協力も得ながら、地域に根差した学校、地域に愛される学校を目指します。

1 豊かな心の育成に向けた取組

- ① 道徳の充実と、人権尊重の精神を、豊かな心の育成を目指します。
- ② 生徒会を中心に、自らが考えて正しい判断・行動ができる生徒、互いを思いやる事ができる生徒の育成を目指します。
- ③ 行事や部活動等の取組を通して、協力し、努力する中で達成感を味わわせ自己肯定感を高めます。
- ④ 体験学習等のキャリア教育を通して社会性を学ぶ機会とします。

2 学力の向上に向けた取組

- ① 数学・英語においては、少人数指導による学習を実施。TT 学習支援員のサポートを得て、個々の生徒に目を配り、きめ細かい指導を目指します。
- ② 放課後学習教室や夏季休業中に学習教室を実施し、基礎の定着を目指します。
- ③ 1人1台PCやICT機器を授業に活用し、意欲の向上とわかりやすい授業を目指します。
- ④ 朝の時間は読書活動に取り組み、本に親しむ生徒を育てます。
- ⑤ 生徒の主体的深い学びを目標に、思考力、判断力、表現力を高めることを目指します。

3 生活面への対応に向けた取組

- ① 不登校、いじめ、問題行動等については、情報の共有と対応を協議し、家族と連携して早急に対応します。また、必要に応じて子ども家庭支援センターや児童相談所等の外部機関の支援も仰ぎます。
- ② 1年生は全員カウンセラーと面談をおこないます。生徒の悩み等の相談に対応します。(週2日勤務)
- ③ 校内支援委員会を中心に、支援の必要な生徒への共通理解を深め、個に応じて組織的に対応します。
- ④ 不登校等の学校に着づらい生徒の居場所としてチャレンジクラスを校内に用意しサポートしています。
- ⑤ 自ら考え、正しく判断し行動できる生徒の育成を目標に、「五中生徒憲章」に基づいて、きまりについても生徒と共に考えていきます。

4 コミュニティ・スクールとして、七小、九小、保護者、地域の方との連携を推進します

- ① 小学校と学習指導や生活指導の内容、考え方を共有して連携を進めます。
- ② 「出前授業」や生徒会による中学校生活の説明会等を通して、中1ギャップの解消を目指します。
- ③ 「夕涼み会」や「地域清掃」等の地域行事や、七小・九小の運動会の手伝い等への生徒の積極的な参加を推進します。
- ④ 「学校だより」や「HP」を通して情報を発信し、保護者・地域の方への理解が深まるようにします。